

佐潟野鳥観察舎建替事業 仕様・施工条件について

資料5-2

≪主な仕様≫

- 既存観察舎と同箇所・同規模（面積）・同機能（2階観察室、屋上デッキ）とする。
- 事前に実施した地質調査結果を受け、新たに地盤改良工事を実施し、観察舎の耐久性向上を図る。
- ハクチョウなど飛来する冬鳥への影響を避けるため、令和8年の春～秋に工事予定。
- 観察室内に、佐潟で観察できる野鳥の紹介パネルなどの展示を予定（必要な備品があればお知らせください。）

≪外観の特徴≫

箇所	①屋上デッキ（床材）	②屋上デッキ（柵）	③外壁	④観察室（内壁、床材）
特徴	<ul style="list-style-type: none"><u>高耐候性塩ビシート</u>（防水・防滑）紫外線や風雨に耐久性有り床材の色彩が豊富	<ul style="list-style-type: none">野鳥のほか、佐潟の景観も楽しめるよう<u>手すり式に変更</u>子どもの転落防止に配慮。	<ul style="list-style-type: none"><u>自然木</u>（自然と調和した外観）観下見板張り（厚み:18mm）メンテ（塗替）により耐久性向上可	<ul style="list-style-type: none"><u>内壁材はシナ合板張り</u>木目が細かく、柔らかい印象<u>床材は、防滑性塩ビシート</u>
事例				

福島潟 雁晴れ舎（がんばれしゃ） 佐渡トキ保護センター（トキテラス） 佐潟 潟見鳥（かたみどり） 内壁材：福島潟、床材：鳥屋野潟